

I 教育目標	
<p>人間尊重の精神を基盤として、予測困難な社会を力強く生き抜き、持続可能な社会の担い手となりうる人間の育成を目指して次の目標を設定する。</p>	
<p>○自主 ○自立 ○貢献</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの権利条約」の4原則を守り、すべての子どもの権利が尊重され、幸せに成長できるようにするために、特に「<u>子どもの最善の利益</u>」に重点を置き、全ての教育活動において<u>生徒の最善の利益を第一</u>に考え、生徒の主体性を育みながら、<u>未来社会を切り開くための資質・能力を育成する。</u> ・<u>目指す生徒像は、主体性をもち、自立した、社会に貢献できる生徒。</u> 具体的には、自分の意思や判断に基づき、責任をもって行動し、相手の立場や考え方を尊重でき、様々な経験を通して身に付けた力を社会で役立てようとする生徒である。 ・3つの教育目標と目指す生徒像に即した生徒を育成するために、次の3つの方針を定める。 	
<p>1. 豊かな人間性の育成 2. 確かな学力の定着 3. 地域とともにある学校</p>	
<p>この方針のもと全教職員が全力で教育活動に取り組むと共に、未来社会を切り開くための資質・能力をもち、よりよい社会を創る担い手を育成することを目指す。</p>	

II 経営方針	
目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>教員の主体的な関わりと励ましの力で一人一人の可能性を引き出すことを第一とした学校</u> ○<u>教職員一人一人がもつ力をチームとして発揮し、全教職員が全力で取り組む学校</u> ○<u>保護者がこの学校で本当によかったと心から実感できる学校</u>
目指す児童（生徒）像	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>主体性をもち、自立した、社会に貢献できる生徒</u> ○<u>安心して自分らしさを発揮できる生徒→「みんな、かがやく！」</u>
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>生徒一人一人を信頼し、ありのままを受け入れ、生徒の良さを引き出せる教員</u> ○<u>生徒の困り感に気づき、授業や学校生活において愛情深く、温かく支援のできる教員（教員は指導者であるとともに支援者でもある、という視点）</u> ○<u>合意形成力を発揮し、お互いが信頼し合いチームとして意欲的に教育活動を行う教職員</u> ○<u>授業改善・研修に励み、生徒の側に立ったわかりやすい授業ができる教員</u>
経営理念	<p>教育目標における目指す生徒像育成のため、昨年度の学校評価を分析し、中期目標や今年度の重点等による経営計画のもと全教職員が全力で取り組む。特に、生徒の困り感に対して<u>愛情深く温かみのある支援と励まし</u>で生徒のやる気と可能性を引き出せるよう育成する。</p>

Ⅲ 経営目標

重点領域 1		インクルーシブ教育を基本とした生徒理解と支援で豊かな人間性を育成
中期経営目標	<p>○生徒指導の柱として、あらゆる教育活動を通して<u>生徒の成長を支える発達支持的生徒理解に基づいた教育</u>を行う。 <u>特別支援学級設置校の利点を生かして、全教員が特別支援教育の視点を持ち、インクルーシブ教育の考えを基本にした生徒理解と支援</u>を行う。</p> <p>○生徒の多様性を尊重し、生徒の「困り感」への理解・支援に重点をおき、<u>生徒が支援されていることが実感できる取組</u>をする。</p> <p>○道徳の充実、徳育・知育・体育及び食育のバランスを基本に、基本的生活習慣の確立を徹底する。特に道徳の時間を通して、社会や学校の規則を守り、礼儀・言葉遣いを正し、身だしなみを端正にし、公共心を育てる。</p> <p>○人間関係や諸事象の問題解決能力の育成を図り、<u>自分の大切さとともに他者の大切さを認めることができるようになるために必要となる人権感覚やいじめ防止について深く考える機会を充実させる</u>。</p> <p>○特別支援学級においては生徒理解を深め、友達力を発揮し、適切な指導を工夫し生徒一人一人の能力の伸長を図り、<u>さまざまな教育活動（生徒会活動・部活動・委員会活動）を通じて通常級との交流を自然に行えるようにする</u>。</p>	
短期経営目標	<p>○生徒一人一人の「困り感」に対して、全教職員で共通理解し、スピード感のある対応を行い、適切に支援できる体制づくりを進める。</p> <p>○生徒会活動や道徳授業、SNS 東京ノート等の教材を活用し、すべての生徒がいじめについて深く考え、命の大切さについて考える機会をつくる。</p> <p>○<u>生徒が支援されていることが実感できるように取り組む</u>。</p> <p>○通常学級と特別支援学級の協力の強化を図り、きめ細やかな支援と共に一体感を感じられる活動を行う。</p>	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	○全教職員が生徒の困り感を共通認識し、 <u>生徒の成長を支える適切な支援への教員の取組状況評価の肯定率を100%にする</u> 。	<p>○生徒アンケートで、先生が、自分の困っていることを察知してくれて、授業や学校生活、人間関係などで個別に支援してくれていると回答する生徒を90%以上にする。</p> <p>○生徒アンケートで困り事や不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると回答する生徒を90%以上にする。</p> <p>○生徒アンケートで、本校に入学して良かったと回答する生徒を95%以上にする。</p>
2	○全教職員が、生徒が自分の大切さとともに他者の大切さを認めることができるようになるために必要な <u>人権感覚やいじめ防止について深く考える機会への教員の取組状況評価の肯定率を100%にする</u> 。	○生徒アンケートで生徒会活動や道徳授業、SNS 東京ノート等の教材を通して、いじめについて深く考え、命の大切さについて真剣に考えることができた ^と 回答する生徒を100%にする。
3	○全教職員が <u>通常学級と特別支援学級の交流の強化を図り、一体感が感じられるようなきめ細やかな支援することの、教員の取組状況評価の肯定率を90%以上にする</u> 。	○生徒アンケートで、通常学級と特別支援学級の交流や活動を通して一体感が感じられた、意欲的に取り組むことができた ^と 回答する生徒を85%以上にする。
4	○全教職員が多面的、多角的に考え生き方について考えを深める道徳の授業を実施についての、教員の取組状況評価の肯定率を90%以上にする。	○生徒アンケートで、道徳授業において、今までより生き方について考えられるようになった ^と 回答する生徒を98%以上にする。

重点領域 2		学力の向上〈基礎基本の徹底と生徒個々の能力の十分な発揮〉
中期経営目標	<p>○こうとう学びスタンダードネクストステージの取組の推進 「深川第一中学校授業スタンダード」を定着させ、授業全体の見通しをもたせ、生徒の不安を軽減させた主体的な学びを促す。</p> <p>○考える力の育成のため言語活動を重視し、ICT機器を効果的に活用すると共に、学習者一人一人の理解度、興味・関心、特性に合わせた「わかりやすい授業」を行う。</p> <p>○生徒が自ら学習時間を管理して、主体的に「家庭学習」に取り組めるよう学ぶ意欲を育成し、確かな学力の定着を目指す。</p> <p>○すべての授業で生徒の個性・能力が発揮できる場を工夫して設定し、自分意見を述べたり考えを発表する時間を十分に確保する。</p> <p>○少人数学校の特色を活かした学年縦割りににおける教育活動の充実を行う。総合的な学習の時間を活用し、継続的に「深一学」に取り組ませ、社会で活用できる「生きる力」の育成を図る。</p> <p>○自ら課題を見つけ、主体的に判断し、自分で考え学び、問題を解決する力をもった生徒を育成する。生徒自身が「自ら考え、選択し、決定する」体験を重視する。</p>	
短期経営目標	<p>○こうとう学びスタンダードネクストステージの各項目を達成し、教師自らが自身を振り返り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善・授業スタイルを確立し、学力の向上を図る。</p> <p>○学習者一人一人の理解度、興味・関心、特性に合わせた「わかりやすい授業」を行う。</p> <p>○生徒が自ら学習時間を管理して、主体的に「家庭学習」に取り組めるような工夫を図る。 (生徒の自己調整力を育む取組)</p> <p>○各教科・道徳・特別活動及び総合的な学習の時間等でICT機器を効果的に活用する。</p> <p>○「深一学」に取り組むことで生徒に「生きる力」につながる思考力・判断力・表現力の定着を図る。</p>	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	○全教職員が「こうとう学びスタンダードネクストステージ」を実施するとともに深川一中授業スタンダードを実践し 「わかりやすい授業」 を実施する、教員の取組状況評価の肯定率を95%以上にする。	○生徒アンケートで「こうとう学びスタンダードネクストステージ」の項目が達成できたと回答する生徒を90%以上にする。 ○生徒アンケートで、基礎基本が身についたと回答する生徒を90%以上にする。
2	○全教職員が生徒の個性・能力が発揮できる場を工夫し、 生徒が意見を述べたり考えを発表する時間を確保 する。生徒の個性・能力が発揮できる場を工夫することへの教員の取組状況評価の肯定率を90%以上にする。	○生徒アンケートで、自分の個性や能力が発揮できる場があり、意見を述べたり自分の考えを発表する時間や機会が確保されていたと回答する生徒を80%以上にする。
3	○全教職員が、生徒が自ら学習時間を管理して、 主体的に「家庭学習」 に取り組めるような工夫に取り組み、家庭学習を定着させる指導に関する、教員の取組状況評価の肯定率を85%以上にする。	○生徒アンケートで、生徒が自ら学習時間を管理して、主体的に「家庭学習」に取り組めたと回答する生徒を80%以上にする。
4	○全教職員が総合的な学習の時間の「深一学」に取り組む、生徒の生きる力を育成する、教員の取組状況評価の肯定率を90%以上にする。	○生徒アンケートで、「深一学」に異学年が協力して課題に取り組む、6つの力のうちで1つでも身についた、とする生徒を98%以上にする。 ○生徒アンケートで、「深一学」に異学年が協力して課題に取り組む、生きる力が高まったとする生徒を98%以上にする
5	○全教職員が 授業内でICT機器の活用を工夫 し、生徒がより多くの機会をもつことができる、授業改善で生徒の興味関心を高める、教員の取組状況評価の肯定率を90%以上にする。 ○全教職員がICT機器の活用が推進され、授業を工夫して生徒の思考力・判断力・表現力を高める、教員の取組状況評価の肯定率を90%以上にする。	○生徒アンケートで、授業内でICT機器に触れる時間や機会が昨年度よりも多くなった、工夫された授業があったと回答する生徒を80%以上にする。 ○生徒アンケートで、ICTの活用で授業への興味関心が高まったと回答する生徒を80%以上にする。 ○生徒アンケートで、ICTの活用で思考力・判断力・表現力が高まったと回答する生徒を80%以上にする。

重点領域 3		地域とともにある学校づくり	
中期経営目標		<p>○地域学校協働本部の活動開発および地域力の活用を図る。</p> <p>○地域学校協働本部コーディネーターとの連携しながら、地域の人材の有効活用を図る。</p> <p>○生徒会活動・部活動や学校行事、ボランティア活動に主体的に取り組ませ、集団や地域社会の一員としてよりよい生活を築こうとする実践的な態度を養う。</p>	
短期経営目標		<p>○地域学校協働本部コーディネーターとの連携を図り、地域学校協働本部主催による講座の充実を図る。</p> <p>○地域学校協働本部主催の講座に積極的に参加を促すことで、生徒の個性や能力の伸長を図る。</p> <p>○生徒に、ボランティア活動に主体的に取り組ませ、社会貢献や地域を愛する力を育てる。</p>	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）	
1	○全教職員が地域学校協働本部担当と連携し、地域学校協働本部による講座（F1 ガーデン、検定事業等）の充実を図ることの、教員の取組状況評価の肯定率を90%以上にする。	○生徒アンケートで、地域学校協働本部主催による講座に参加したと回答する生徒を80%以上にする。	
2	○全教職員が地域学校協働本部担当と連携し、生徒に地域学校協働本部による講座の参加を積極的に促し、地域の方々と一緒に活動することの、教員の取組状況評価の肯定率を90%以上にする。	○生徒アンケートで、地域学校協働本部による講座や地域行事に積極的に参加し、地域の方々とのつながりが深まったと回答する生徒を85%以上にする。	
3	○全教職員が、生徒が積極的に地域清掃等、地域主催の防災訓練等への参加を促す教員の取組状況評価の肯定率を90%以上にする。 ○全教職員が、生徒にボランティア活動に主体的に取り組ませる指導や地域に貢献する生徒を育成する、においての、教員の取組状況評価の肯定率を90%以上にする。	○生徒アンケートで、地域清掃等や地域主催の防災訓練等に意欲的に取り組むことができたと回答する生徒を90%以上にする。 ○生徒アンケートで、ボランティア活動に主体的に取り組み、地域等に貢献する気持ちが高まったと回答する生徒を90%以上にする。	